



PROJECT FOR ZAMBIA COVID-19 緊急支援事業

中間報告書

マスクで守る、ストリートチルドレンの明日

6月3日に始まったザンビア新型コロナウイルス緊急支援事業のマスク配布とワークショップの開催も、15日で終わりを迎えました。(以降はフォローアップ継続中)

パートナー団体の現地 NGO、Footprints Foundation for Children in Zambia (以下 Footprints) は合計 1,000 枚のマスクを届け、首都・ルサカ市にある 12 ゾーンの内 9 ゾーンを回りワークショップを行いました。



活動実績 (期間：2020年6月3~15日)

活動回数

7回

マスク配布数

1,200枚

ワークショップ
参加人数

914人

※うち、200枚は現地で
寄贈されたもの

活動場所 (全てルサカ市内)

- Zone① マンダヒル・ショッピングモール近辺
- Zone② ノースミード地区近辺
- Zone③ ニパ・カンファレンスセンター近辺
- Zone④ セブンスデー・アドベンチスト教会近辺
- Zone⑤ レヴィ・ショッピングモール近辺
- Zone⑥&⑦ 中央郵便局近辺
- Zone⑨ シティマーケット内ハングリーライオン (ファストフードショップ) 近辺

※黄色ピンがすでに活動を行った場所



> 拡大してご覧になりたい場合はこちらから

活動の様子

新型コロナウイルスの知識がほとんどない子がいたり、知っていても、自分の免疫力を過信する子どもたちもいましたが、Footprints スタッフの話を丁寧に聞いて協力してくれました。教わった感染症対策をすぐに実施する子どもたちもいて、ワークショップの効果が見られます。中にはもっと対策したいと、石鹸や2枚目のマスクを求める子もいました。送られてきたビデオの中では、子どもたちがマスクを装着しながら感謝の言葉を口にしています。

配布の様子を目にした地域の人々も、感染拡大を予防できることを嬉しく思っているとのことでした。

Footprints がマスクを配布する様子を見て、匿名でマスクを 200 枚寄付してくれた地元の方もいました。活動の様子はテレビにも取り上げられ、それを観た「青少年スポーツ・育成省」の理事は、これからも活動を続けて欲しいと述べ、Footprints の活動を省内でシェアしたいとのことでした。これをきっかけに、ストリートチルドレンの現状に対する関心が、ザンビア国内でも広がることを願ってやみません。

パートナーを亡くされた女性たちが運営する「CAROLINE DESIGNS」の就業支援プログラムを受けた方々が作成した、ザンビアの伝統的な布「チテンゲ」で作られたマスクはとてもカラフルなデザインです。

未だ感染拡大の続く状況下で、子どもたちが少しでも安全に過ごせることを願っています。Footprints は今後もフォローアップの活動を続けていきます。



私たちはマスクをもらうことができとても感謝しています

> 送られてきたビデオメッセージはこちらから



※Footprints の活動に関心のある方、直接寄付で支援をしたいという方は下記ページをご参照ください。

<https://www.footprints.org.uk/>
(英語ページ)